

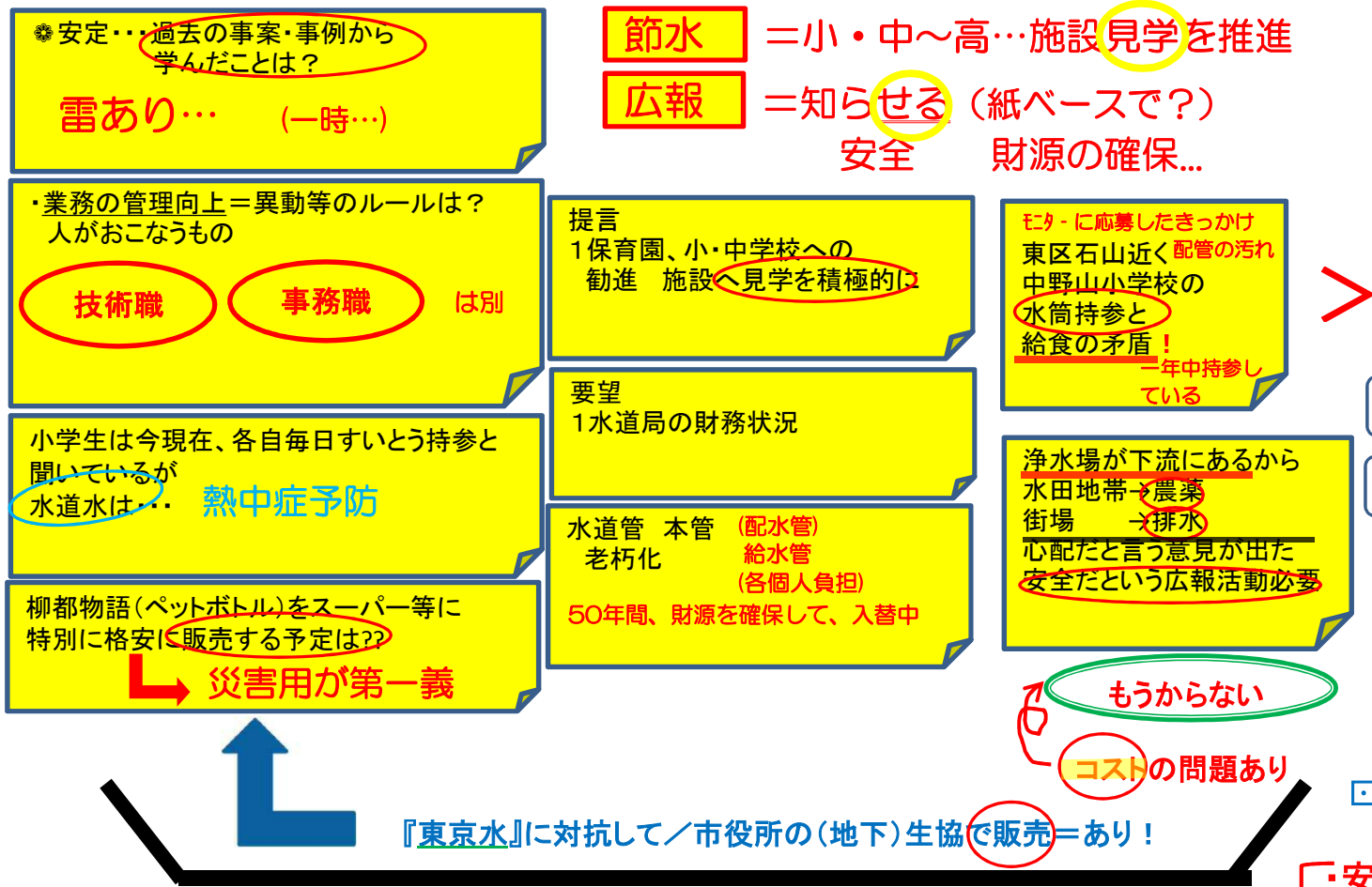
1班 安全

"安全・安定" キーワード

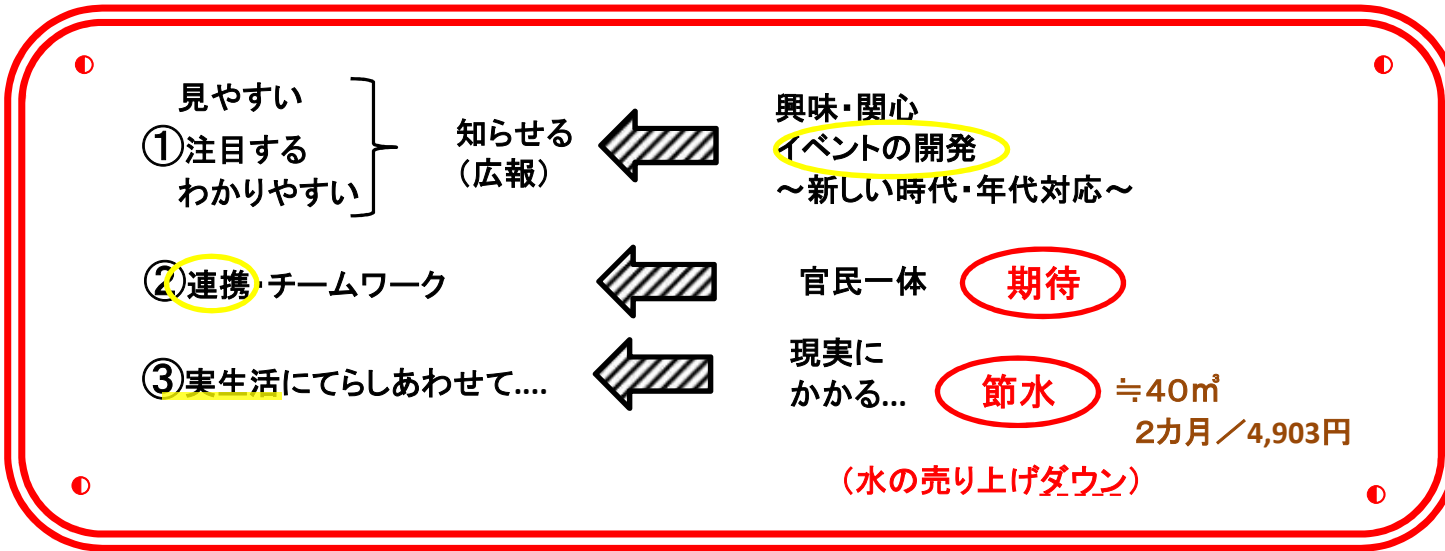
2017. 11. 15(水)



(3) (1)と(2)をうけて、意見交換をうけて...



(4)



(1)

毎回いろんな浄水場(施設)等に連れて行っていただき、貴重な見学をさせていただき、安全な水を提供してもらっていることを再確認しました。

感想 1研修を重ねるうちに、水道水が安全でおいしいと感じました。 2独立採算制で事業を行っていることを知り、今後の展開が大変だと思えます。

新水道ビジョンをもっと深く知りたい。

感想 くみあげた水が1日で水道の蛇口から、使っていることにビックリ!

上下水道工事をすると水道料高い。 ④水道 > 分担 ⑤水道

感想 水の検査が多いことを知った。

感想 水の排水していることが、自分の口につながっていることに気づいた。

感想 水の検査のデータが使用している側に表示されていないのでは?

感想 1水道水の恩恵広報活用。 2モニターとの連携活動。

①安全から安定へ (×安全ボケ) ②人による管理(人材育成) ③期待=信頼(×信用)

再確認 (SAIKAKUNIN)

安心...

- (1)今までのモニター研修のまとめ感想(自己紹介)
- (2)意見交換①
- 下水道 } 業務... 料金...別々 配管... 上水道 }
- (3)意見交換② 給水...配水 (提言等) (期待すること)
- 支水管 本管
- (4)おしゃべり (クールダウン)
- ~おつかれ様でした。~

(2)

- 水質検査...安全・おいしさ...新潟市水道
- 水道事業のしくみ...収益の向上. 改善. 改修.
- 口に入る水道...安全.
- 水質検査...安全/検査の表示. 明記は? (領収書. 請求書)
- 水道水の恩恵! 水道の価値! 東日本大震災 広報活動の拡大へ. 職員の努力
- モニター@20~25人...職員≒350人 ※300人 連携活動の推進は?
- ビジョンの深化
- 上下水道工事による料金の増加? <<下水道担当は別>>
- 安全→安定
- 人による...
- 期待

2班 安全

その他

水道水の安全は、やはり直に施設等を見学すること。やはりインパクトが違う。

自然災害は、今後は起るであろう地震に備えて「耐震管」への入れ替え。

小学生に理解してもらえる一番の方法は、目で見て、においとかを感じる必要があると思う。

別件ですが、下水道について簡単な話を。雨水は結構たまる。

料金収受は順調か。料金「ライフライン」、電機、ガス、水道。

モニターTVはどこにもあるので、9月に観たビデオの子供向けを作り、学校授業等で紹介してもらおうことは、すでにやられているかもしれませんが。

最終安全チェックは「人」がする……。意外というか納得しました。

コスト減

収入をあげるために備蓄用の1.5ℓ、2ℓの大きいペットボトルを販売してほしい。

施策管理の充実、水質強化には、十分安すぎるほどである。安全を欲するならば、IT化にして人件費を減らす。

安全性については、十分理解できた。しかし維持するにはコストがかかる。値上がりはベターか？

安全を維持するために
・検査
・人
・施設
お金が必要。収入を上げる。

飲用水と生活水を分けて配水する方法を考えた。いいと思う。(例)生活水は現状のまま、飲食用の各家庭に配る方法など。

最近は「節水」とあまり聞かないが……。日常生活で活かしていくためにも、アドバイスをください。

安全を知ってもらうためにモニター制度の二期制とする。
モニター人数が増える。
報酬の問題。

PR

〈1〉小学4年生の見学者が全体の7割くらい。この子供たちのこの見学時の中身の充実が大切。

水道メーターの検針に来る人に、宣伝活動をやらせたらどうか。アンケートを取るのも良いかも。雨水ますのすすめも良いかも。

水を大量に利用する企業を誘致する。

〈1〉見学ルートの改善
①高架配水塔の屋上もぜひ見学させたい。
②水辺の広場「せせらぎ」にも行って稲架木念写真も！
③中央監視室にも入れる。TVモニターで各所観測しているのを見せてやる。

小4の学習だけでなく、PTA活動を巻き込んで、親、大人、中学生、高校生、大学生、教員いろいろな人が見学、実験できるしくみ。

「水先案内」役割は幅広くPRするためなので、現状で時代にあっています。編集でお願いします。

市民は安全を前提に水を使っている。安全性をPRする方法として、テレビなどのPRが必要。紙のみでは読まない。

〈3〉小学生の見学を増やすために、広報紙の「水先案内」をより有効に活用できるようにする改善案を提言する。

〈2〉小学4年生が市内で約6割が見学に来ている。あとの約4割の子供たちが来ようという努力が大切。
①→学校へアピール。
②さわやかトークの活用も。

かなり高レベルの安全性が保たれている水なので、たくさんの方に皆さんの努力、尽力を知ってもらいたい。安全を当然と思わしてほしい。

各市町村とも合併し、ムリ・ムダを省いてIT化をする。

④魚類探視モニターも！（養殖メダカ）
⑤ビデオだけでなく、パンフの抜粋を2枚程度配る。

子供たちが水道の安全の大切さを感じて水道ファンになっただけでなく、彼らが水道ファンとして仲間や家族につなげれば「安全でおいしい水道水の供給」を守っているのではないかと！

新潟市の水道水はすごいんだという宣伝。他自治体とくらべてこれもある！HP、講演会。

TV、スマホに子供が喜んで見る。文字は難しいので分かりやすく。TVスポットに入れる。

〈3〉「水先案内」の改善案
①年4回→年12回
②6項→4項
③小学生の見学を紹介する。礼状、感想文、絵など、これをシリーズ化する。
④キャラクター水太郎をうまく活用する。
⑤見学時の写真などを！

安全な水は理解していますのでその宣伝方法を考えたい。

(有料)現状あるものを利用。緑が多く空気の良い場所として子供、大人が利用できる自由空間を作る。

竹尾配水場で非常時の給水と回覧板がまわってききました。その時埼玉県加わりましたが、柳都水の関係ですか。

安全をもっと知ってもらうために
・テレビ
・ラジオ
・新聞
・Twitter
・イベント

3班 安全

広報

昔は「電気と水」は、タダで手に入っていた。
⇒人口増加や工業化で金をかけないと手に入らない。
⇒安全・安心の水には金がかかることを市民に知らせる。

日本(新潟)の水道水は「安全」であることを、自信をもって宣伝して良いのでは！
苦労していることも。

現在と同じレベルの安全管理をしていくためには、予算と人材育成にかなりの労力が必要であり、水道局が担う苦労話をもっと市民に伝えてほしいと思いました。

水の飲み比べのイベントでPRを。

小学生の社会科見学同様、大人の社会科見学も実施してほしい。

広報について
広報紙の活用に再考を！

壁に貼ってあった子供さん(小4)の感想に(出張授業をうけての)、水は工場で作られているのではないということがわかりましたとあったのに、授業の重要性を感じました。

水道水をもっと飲むようなアピールが必要。

水道水が安全というPRが不足。

安全管理されていておいしい水道水なのに、ジュースや牛乳などを購入するほうに目が向きがちだったので、もっと水道水を飲む習慣をもちたいと思いました。

人材育成

若い人材の育成
(若いスタッフの敏感な舌の感覚やにおいの感覚を、水質検査に生かしていく。)

その他

安全に管理された水が、蛇口をひねれば出てくると何の疑いもなく思っていたので、意図的に外部からの何かがない限り信用度100%でした。

飲料水と生活用水の区別はできないものか。

水道水をおいしく。

他部署との連携

川の水を浄化して飲料水とする。
①下水整備に伴い、河川の汚れも少なくなる。
⇒下水道事業との連携が大切。

川の水を浄化して飲料水とする。
②自然災害(土砂)による河川の汚れを少なくする。
⇒土木工事主管部との連携が大切。

技術

監視体制について民間の導入はいかがですか？

放射能汚染検査も含め、水質検査の緻密さをさらに進めてほしい(強化してほしい)と思います。(人のチカラ+機械・設備)

生物活性炭が実際に、塩素(トリハロメタン)に含まれる発ガン性物質をどのくらい抑制してくれるのだろうか？
(問題ないレベルではあるかもしれないが……)

国際

SDGs(持続可能な開発目標)の「安全な水とトイレを世界中に」という目標実現のため、日本の浄水場の技術と知識を国際的に活かし、貢献していく。
(安全な水の提供のため)